

200352

絵本学会 NEWS No.18

発行：絵本学会

発行日：2003年5月2日

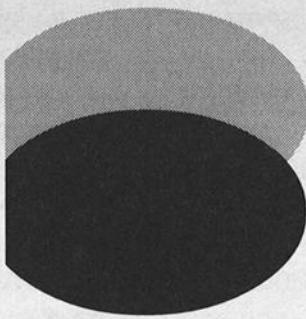
編集：絵本学会事務局・広報委員会

事務局：〒187-8505 東京都小平市小川町1-736

武蔵野美術大学芸術文化学科今井研究室内

FAX：042-342-5191

<http://ehongaku.musabi.ac.jp>



絵本フォーラム'03赤ちゃんと絵本のために、大切なこと
と「ファーストブックとブックスタート」

2002年度絵本参考文献目録

機関誌『ブックエンド』をひろめましょう

絵本学会雑感・学会設立を呼び掛けた者として

伝言板

インフォメーション・絵本関係展覧会・イベント

委員会から

事務局からのお知らせ

絵本学会

絵本フォーラム'03を開催します 赤ちゃんと絵本のために、今大切なこと 「ファーストブックとブックスタート」

乳幼児健診に参加したすべての赤ちゃんと保護者に、絵本をメッセージとともに手渡す運動「ブックスタート」が全国の自治体で実施され、話題になっています。赤ちゃんと絵本のために、今大切なことは何なのか。「ブックスタート」の実施自治体からの報告と絵本研究者による問題提起をもとに、自由な意見交換を行います。

日時 2003年8月23日（土）10時30分～16時30分

会場 世田谷文学館（京王線芦花公園駅徒歩5分）

主催 絵本学会

第1部 問題提起 10時30分～12時

今回の絵本フォーラムのテーマ「ブックスタート」について、それぞれの立場から報告と問題提起をしていただきます。

赤ちゃんと絵本 中村恵子（前豊川保育園園長）

ファーストブックの現状 講師未定

「ブックスタート」の実施例から 講師未定

第2部 談話サロン 13時30分～15時30分

3部屋に分かれ、第1部の話題提供者を囲んで、自由に語り合うひと時です。

A室 赤ちゃんと絵本

B室 ファーストブックの現状

C室 「ブックスタート」の実施例から

第3部 報告、座談会、情報交換 15時30分～16時30分

各談話サロンからの報告と話題提供者による座談会、情報交換をおこないます。

参加費・定員：会員500円 非会員1,000円 150名 先着

参加申し込み：往復はがきに住所、氏名、電話番号、会員・非会員、
参加希望談話サロン（A室、B室、C室）、フォーラムで議論したい
テーマ（ありましたら）を明記し、8月1日（金）までに下記へ。

参加申し込み・問い合わせ：世田谷文学館 絵本フォーラム係

〒157-0062 世田谷区南烏山1-10-10

TEL：03-5374-9112

FAX：03-5374-9120

2002年度絵本参考文献目録

(2002年1月－9月発行分)

●単行本

- ・赤木かん子『絵本・子どもの本 総解説』自由国民社 2002.6
- ・今井良朗+中川素子編著『イラストレーション/絵本』武蔵野美術大学出版局 2002.4.1 154p
- ・神立幸子『二十世紀の絵本の表現—本来のものに立ちかえる世界—』武蔵野書房 2002.7.27 252p
- ・草谷桂子『ジェンダー・フリーで楽しむこどもと大人の絵本の時間』学陽書房 2002.7.24 273p
- ・子どもと科学をつなぐ会『子どもと楽しむ科学の絵本850』子どもと科学をつなぐ会 2002.4.15 136p
- ・坂井妙子『おとぎの国のモード』劉草書房 2002.3.20 230p
- ・竹内オサム『絵本の表現』久山社 2002.1.31 109p
- ・田島征彦『ピコちゃんを食べた。』飛鳥出版室 2002.6.1 213p
- ・丹陽子ほか『初期草双紙の翻刻・内容分析による近世期の子供の文化の研究』東京学芸大学言語文学第一学科 古典文学第六研究室 2002.3 211p
- ・徳永満理『絵本で育つ子どものことば』アリス館 2002.6.6 150p
- ・鳥居フミ子『金太郎の誕生』勉誠出版(遊学叢書21) 2002.1.2 209p
- ・鳥越信編著『はじめて学ぶ日本の絵本史』II ミネルヴァ書房 2002.2.25 13、395、23p
- ・鳥越信編著『はじめて学ぶ日本の絵本史』III ミネルヴァ書房 2002.7.25 14、412、37p
- ・藤本朝巳『子どもに伝えたい昔話と絵本』平凡社 2002.6.10 195p
- ・マイクル・ファー 小野耕世訳『タンタンの冒険 その夢と現実』サンライズライセンシングカンパニー 2002.3.1 205p
原著: Michael Farr, Tintin. London: John Murray, 2001
- ・柄居孝『雑誌「少年赤十字」と絵本画家岡本帰一』竹林館 2002.5.20 64p
- ・松井瑛莉子『もっと絵本が好きになる』健友館 2002.1
- ・松本猛『ぼくが安曇野ちひろ美術館をつくったわけ』講談社 2002.5.7 172p
- ・宮崎清『幼児が喜ぶ絵本—21世紀に輝く秀作絵本100選』信毎書籍出版センター 2002.1
- ・和田誠『物語の旅』フレーベル館 2002.1.20 223p

●図録

- ・井上芳子(和歌山県立近代美術館)、森田一(うらわ美術館)、松本教仁(高知県立美術館)、杉野秀樹(富山県立近代美術館)、白鳥正夫・津田真希子(朝日新聞大阪企画部)『山本容子の美術遊園地』朝日新聞社『山本容子の美術遊園地』図録 2002 255p
- ・いわき市立草野心平記念文学館編『童話の世界武井武雄』いわき市立草野心平記念文学館『童話の世界武井武雄展』図録 2002.7.6 65p
- ・内田静枝編『挿絵画家が描いた魅惑のファンション展』弥生美

術館「挿絵画家が描いた魅惑のファンション展」図録 2002.5.1 31p

- ・国立国会図書館国際子ども図書館編『不思議の国の仲間たち—昔話から物語へ—』国立国会図書館国際子ども図書館 国立国会図書館国際子ども図書館全面開館記念展示 図録 2002.3.29 94p
- ・世田谷文学館編『昔話と昔話絵本の世界展』世田谷文学館「昔話と昔話絵本の世界展」図録 2002.7.6 63p
- ・東京都北区飛鳥山博物館編『金の船・金の星—今に生きる大正児童文化の世界』東京都北区教育委員会「野口雨情・山本鼎生誕120年」図録 2002.7.20 55p
- ・西宮大谷記念美術館編『元永定正展』西宮大谷記念美術館「元永定正展」図録 2002.4.28 191p
- ・ふくやま美術館編『ふしぎな長新太展 絵本「がんばれさるのさらんくん」から「くもの日記ちよう」まで』ふくやま美術館『ふしぎな長新太展』図録 2002.7.27 151p
- ・ブック・グローブ社 伊藤元雄編『みんなが愛した絵本の世界の原画展』図録 ブック・グローブ社 2002.8 61p
- ・本多慶子・板東悠美子・関沢明子編『プラティスラヴァ世界絵本原画展とスロヴァキア絵本芸術の巨匠たち』日本国際児童図書評議会「プラティスラヴァ世界絵本原画展とスロヴァキア絵本芸術の巨匠たち」図録 2002.7.20 131p
- ・松本人子編『みんなのヒーロー! おすもうさん展解説書』江戸のおもちゃ絵から平成のマンガまで』弥生美術「みんなのヒーロー! おすもうさん展」図録 2002.1.3 36p
- ・宮城県美術館・練馬区立美術館・北海道立帯広美術館・和歌山県立近代美術館・NHK東北ブランディング編『はじめての美術 絵本原画の世界』図録 NHK東北ブランディング 2002.4.13 209p
- ・メディアリンクス・ジャパン編集・発行『五味太郎 絵本ワンダーランド』愛媛県立美術館「五味太郎 絵本ワンダーランド展」図録 2002.7.20 80p

●紀要論文他

- ・浅岡邦雄『明治期博文館の主要雑誌発行部数』国文学研究資料館編『明治の出版文化』臨川書店 2002.3.31 141-177p
- ・阿部紀子「『新・講談社の絵本』の問題点」研究「子どもと文化」(中部子どもと文化研究会) 9号 2002.8.01 18-36p
- ・内海幸代「研究ノート:林明子の絵本表現—『はじめてのおつかい』から『こんとあき』へ」絵本学—絵本学会研究紀要(絵本学会) 4号 2002.6.10 5-12p
- ・桂宥子「命をみつめる絵本考—絵本とクオリティー・オブ・チャイルドフード」本多英明編著『英米児童文学の宇宙 子どもの本への道しるべ』ミネルヴァ書房 2002.4.5 198-212p
- ・季穂「報告:日本で出版された西遊記絵本に関する一考察」絵本学—絵本学会研究紀要(絵本学会) 4号 2002.6.10 13-26p
- ・木村利夫『John Harrisの『シンデレラ』—チャップブックからの逸脱—』鶴見大学紀要 第2部 外国語・外国文学編(鶴見大学) 39号 2002.3.8 1-19p
- ・酒井昌代「挿し絵に見る『小公主』受容—1945年まで—」研究「子どもと文化」(中部子どもと文化研究会) 9号 2002.8.01 37-47p
- ・ジャン・シャロー 畠中圭一訳「蝶の羽の重さ」(フランス語文と日本語訳語文掲載) 国際児童文学館紀要(大阪国際児童文学館)

17号 2002.3.31 35-93p

- ・柴村紀代 「月刊『こどもせかい』の研究 その1 杉田豊に見る『こどものせかい』の特徴」 藤女子大学紀要 (藤女子大学) 39号・第II部 2002.2.14 67-72p
- ・鈴木穂波 「研究ノート:「食」から見た絵本についての一考察—子ども文庫の実践から」 絵本学—絵本学会研究紀要 (絵本学会) 4号 2002.6.10 27-36p
- ・高齢志子 「絵本が解放されるとき—Little Blue and Little Yellowをてがかりに」 本多英明編著 『英米児童文学の宇宙 子どもの本への道しるべ』 ミネルヴァ書房 2002.4.5 213-231p
- ・中村悦子 「絵雑誌の研究・戦時下の出版『コドモノクニ』の場合」 大妻女子大学紀要一家政系一 (大妻女子大学) 34号 2002.3.01 113-132p
- ・永田桂子 「児童文化の安全対策—絵本の場合 その歴史と現状、と提言」 国際児童文学館紀要 (大阪国際児童文学館) 17号 2002.3.31 1-22p
- ・中村悦子 「絵雑誌散歩 道草編 松山文雄の『コドモノクニ』関係者の訪問記」 論叢児童文化 (くさむら社) 7号 2002.5.25 34-39p
- ・中村悦子 「戦争から平和へ、その移行期を問う—絵雑誌『日本ノコドモ』を事例に」 論叢児童文化 (くさむら社) 8号 2002.8.30 38-45p
- ・夏目康子 「Mary, Mary quite contraryを読む—聖母マリアから『秘密の花園』まで—」 Tinker Bell (日本イギリス児童文学会) 47号 2002.2 15-28p
- ・灰島かり 「『育てる者』と『育てられる者』の葛藤—『まどのそとのそのまたむこう』に描かれた命の神祕」 本多英明編著 『英米児童文学の宇宙 子どもの本への道しるべ』 ミネルヴァ書房 2002.4.5 232-259p
- ・畠山久仁代 「『子どもの絵本』の選定に関する一考察」 PL学園女子短期大学紀要 (PL学園女子短期大学) 28号 2002.2.14 67-72p
- ・藤本朝巳 「絵本の語法論—絵本の中の『枠』の機能—」 フェリス女学院大学文学部紀要 (フェリス女学院大学文学部紀要委員会) 37号 2002.3.1 111-140p
- ・三宅興子 「講演:絵本の翻訳と文化の根っこ」 絵本学—絵本学会研究紀要 (絵本学会) 4号 2002.6.10 37-47p
- ・山口真帆子 「日本語を母語としない年少者に対する絵本を用いた日本語教育—日本語イマージョン教育でのケーススタディー」 横浜国大国語研究 (横浜国立大学国語・日本語教育学) 20号 2002.3.20 11-25p
- ・「ユリイカ」 2月臨時増刊号 総特集—絵本の世界 青土社 2002.2.25

機関誌『ブックエンド』をひろめましょう

絵本学会が発行する『ブックエンド』創刊号は、21世紀の絵本の新しい姿を感じることができる雑誌として評判もなかなかいいようです。ただ、書店でなかなか見かけることができないと事務局などに問い合わせが寄せられます。現状の書籍流通システムでは、多くの書店で扱われることはほとんど不可能な状況です。

会員の方々には、周辺の人たちへの告知とともにフィルムアート社からの直接購入をお奨めください。

また、グループなどで購入される場合は、10冊以上から割引が可能だそうです。

『ブックエンド』プレ創刊号もまだ残部がございます。『ブックエンド』の販売が良好になれば、今後の出版活動も楽になり、より理想的な機関誌づくりが可能になります。

会員のみなさまぜひ販売にご協力ください。

『ブックエンド』プレ創刊号 1,400円

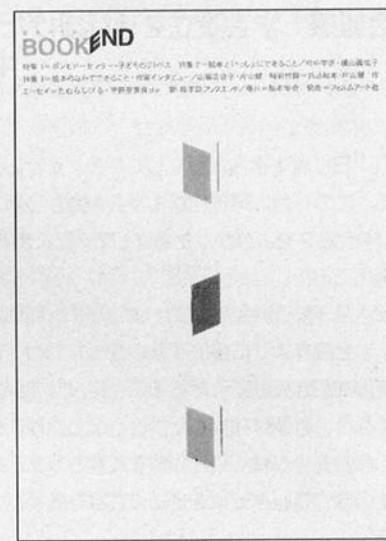
『ブックエンド』創刊号 1,200円

発売=フィルムアート社

〒160-0008 東京都新宿区三栄町10番地 日鉄四谷コーポ

TEL: 03-3357-0283 FAX: 03-3357-0679

URL: <http://www.filmart.co.jp>



●おわび

先日お届けいたしました『絵本学会ニュース17号』4ページの「絵本学会雑感」の記事中、脱字および数行の脱落がありましたので、おわびいたします。

なお、訂正箇所は以下のとおりですが、改めて全文を掲載いたします。

4ページ・右の段上から4行目

年の論文集への投稿数も→毎年の論文集への投稿数も

4ページ・右の段下から17行目

第5回大会では→第5回大会では

4ページ・右の段下から10行目

慣例的な論文の書き方でなく、絵本学でもこういった試みが出てこないとも〈脱落〉ML上の会話による情報を楽しみにしている。

↓

慣例的な論文の書き方でなく、絵本学でもこういった試みが出てこないともかぎらない。

運営委員の笹本先生によれば、漫画などでは既に見受けられるとのことだ。

研究部門にも動きが出てきた。私は笹本先生がよびかけてくださった研究会に所属し、毎月の研究発表やML上の会話による情報を楽しみにしている。

た。構成員の立場、専門分野、絵本への視点の当て方などさまざまなものがあつても、それらを包含するものとしての絵本の魅力が、駒形克己氏デザインの赤と緑の学会マークによく表れているように思う。さて、今後の活動に当たり苦言も呈さなければならない。役員会でもよく話題になるが、研究部門が活発ではないことだ。それは一人一人の研究者自身の問題であつて、フォーラムなどの活動のためではない。毎年の論文集への投稿数も少ないので、大会時の口頭発表も決して質が高いとはいえない。昨年の大会時には私が最高年齢の発表者とからかわれたが、駆け出しの研究者だけでなく、誰もが率先して発表することが必要だと思う。

特に残念だったのは、未整理であつても斬新だと思う若い研究者の発表がなかったことだ。「御意見ありがとうございます」といった形式的なやりとりでなく、激論になってもいいから問題提議をなすものであつてほしいし、そういう意見をつぶさない学会でありたいと思う。私自身は50代になるまでどの学会にも所属せず、初代絵本学会会長の吉田先生に「正解でしたね」といわれたが、絵本学会が決して権威主義にならないよう願っている。何故なら絵本こそ、権威主義とは違う領域にあるものだからだ。

研究の在り方もさまざまな可能性が考えられる。2000年、東京都写真美術館で絵本学会、アニメーション学会、漫画学会設立準備会の合同シンポジウムが開催されたが、同時に学生の絵本作品を展示することができた。それ以来、大会時に絵本作品の展示をしているが、第5回大会では小野明、土井章史両氏により絵本作品の講評も行われた。制作による研究という方法も、成果が期待できるだろう。

今、私はアメリカなどで行われているブリコラージュという研究方法に興味を抱いている。興味のある方は、絵本学会の本を出版して下さっているフィルムアート社の「キッズ・サバイバル」などを読んでいただきたい。日本ではなかなか受け入れられないだろうが、慣例的な論文の書き方でなく、絵本学でもこういった試みが出てこないともかぎらない。運営委員の笹本先生によれば、漫画などでは既に見受けられるとのことだ。

研究部門にも動きが出てきた。私は笹本先生がよびかけてくださった研究会に所属し、毎月の研究発表やML上の会話による情報を楽しみにしている。また、私の元へ中国の美術大学から絵本について講演依頼があり、絵本の視覚表現性について問い合わせのあった韓国の先生ともメールのやりとりをしている。

研究会は学会とは別組織ではあるし、中国や韓国も個人的なものではあるが、絵本学会を核にして有機的に増えていく活動や交流から絵本の魅力が広がり、そのうち学会として国際シンポジウムを開くことなども可能になるのではないかだろうか。絵本学会も皆さん一人一人の生き生きとした考えによってこそ発展することと思われる。役員や企画に積極的に加わり、新しい風を吹き込んでいただければと思う。

(なかがわ・もとこ 理事)

絵本学会雑感 学会設立を呼び掛けた者として 中川 素子

1997年5月11日に絵本学会が設立してから、すでに5年半がすぎようとしている。この6月、第6回絵本学会大会から新たな活動が始まるにあたり、学会設立をよびかけた者として、これまで振り返り、今後のことを考えてみたい。

私が「Pee Boo」23号で学会をよびかけたのは、1996年6月のことであるから、学会設立までに僅に1年かかったわけだ。よびかけた後、最初に事務局を引き受けくださることになっていた大学が都合によりできなくなり、計画は頓挫したかと心配したが、声をかけた武蔵野美術大学の今井先生が快く引き受けくださった。絵本学会が活動を続けられたのは、煩雑な仕事を地道にこなしてくださった事務局のおかげである。

学会設立準備委員会は今井先生、安藤野ちひろ美術館の松本猛氏、それに私で始め、絵本作家の太田大八氏にも加わっていただいた。学会はそれほど簡単にできたわけではなく意見の違いがあったが、その違いが現在の学会を豊かにしたと考えている。たとえば「Pee Boo」26号に太田大八氏が「いずれにせよ、学会というのは学者、研究者、専門家による論理の構築と発表の場であり、画家である小生はやや場違いの感をいなめない」と書かれているように、太田氏は学会でなくフォーラムを願われた。しかし、このフォーラムの考えは、決して学会と対立するものでなく、絵本学会を楽しい存在にしてくれたと思う。企画委員会で企画したフォーラムへの一般の参加者も多く、結果、会員数もふえたのである。

他にも、絵本を「表現としてみる」という設立主旨に賛同し発起人になってくださった方々、また、私のよびかけ文を掲載してくれた多くの新聞社の協力により、第一回大会を盛況のうちに迎えることができ

伝言板

出版のお知らせ

●「絵本は小さな美術館—形と色を楽しむ絵本47」平凡社新書
中川素子著 5月20日発行 880円+消費税

第1章、絵本の表現構造、第2章、色と形、文字、第3章、素材や技法、基材、

第4章、絵本が語る現代という組み立てになっています。

新書なので、できるだけ読み物としても楽しく読めるよう心掛けましたが、今までにあまり取り上げられることの少なかったイタリアやロシアの絵本などについてもふれています。また、視覚表現ということに、より普遍的な力を与えるために、色とか形ということだけでなく、女性イメージ変化、老いるということ、子どものイメージなどについても絵本の視覚表現から解きあかしています。また、新書にしては写真も多くのせることができ、楽しい本になったと思います。

●「写真を使って絵本を作ろう！」

中川素子、和田直人共著 あすなろ書房、

5月末発行予定 2200円（予価）

写真やカメラは、子どもたちにとっても身近な存在となっています。写真と絵本とを結び付けたらと、子どもたちの創造力を引き出す楽しい写真絵本の作り方を紹介しています。たとえば、自分の写真をコラージュして不思議な世界を表現したり、自分の写真にライオンのたてがみを描いた透明シートをかぶせて、ライオンに変身させたり、飛び出す写真絵本を作ったりといったぐあいです。

ただし、ハウツー本というよりも、1冊の絵本としても楽しめるように、装幀などを工夫していますので、絵本作家をめざす方やカメラマンだけでなく、皆様に見ていただけたらと思います。

●「絵本でひろがる楽しい授業」

中川素子編 文教大学絵本と教育を考える会著

明治図書、3月発行 2000円+税

子どもたちが生き生きと教科に打ち込み、自分の心を開放し、明るい人間関係を結べるよう、小学校教育の場でも絵本をもっと積極的に用いられないかと文教大学教育学部の専門分野を異にする教員11人が集まり70冊選びました。勉強に関しては、ここにある絵本がすべての単元に対応しているわけではありませんし、それを目的としているわけでもありません。ただ、勉強する楽しさのきっかけを作り、考える力を育てる絵本を選びました。絵本の使い方も、読んだり見たりするだけでなく、より広範な活動に結び付けています。教員向けに書いてはいますが、絵本と教育を考える皆様に見ていただけたらと思います。

●「美術手帖」に5月号（4月発売）より「EHONHEAD」登場！ のお知らせ

主に現代美術の月刊誌である「美術手帖」に新しいページ「EHONHEAD」ができました。

アーティストの絵本をその作品と同じ視野で見ようとするものです。わずか1ページですが、絵本を美術的な視野でみようとする動きが強まってきたといえそうです。また、こういうページができることで、絵本制作に加わろうとするアーティストが増えるのではと期待しています。中川が1年間担当いたします。御覧くださいませ。

中川素子

絵本関係
展覧会・イベント

information

●イルフ童画館

2003年4月18日（金）+19日（土）は、無料開放いたします！
イルフ童画館の創立5周年を記念いたしまして、4月18日（金）～19日（土）の2日間、入館料無料にて3Fと2Fの展示をご覧いただけます。

まだ来館されていない方、地元の方、学生の方など、この機会にぜひともご来館ください。

武井武雄刊本作品常設展示

自らのライフワークとして生涯をかけて制作し、「ほんの宝石」とも呼ばれている、139冊の刊本作品に関する展示、139冊の刊本作品の中から15冊位を入れ替え展示しています。刊本作品専用本箱も展示。

『刊本作品』とは・・・制作に当たり何を素材とするかを決め、その素材を生かしながら絵・文字・装幀・函、印刷方法に至るまですべてが一体の作品であるという視点にたち、一冊ごとにそれぞれ特徴ある芸術作品として制作されました。

当初は、「おもちゃ」という概念の中から制作されましたが次第に美的表現を追求した「本の芸術」として完成されてきました。制作過程も特殊な作品が多く、例えば世界最古の紙「パピルス」を本の素材として用いるために現地から苗を取り寄せて栽培し、紙をすぐという工程を辿り、完成までに実に四年半を要したものもあります。
第2企画展示室

世界中のこども達を魅了しつづけるモーリス・センダック。日本一の収蔵を誇る当童画館で、センダック作品を展示中。

開館時間

○午前9:00～午後6:00

○休館日 毎週木曜日（祝日の場合は開館）

展示替え臨時休館日 6/25（水）・12/3（水）

所在地図

JR中央線岡谷駅下車、徒歩5～7分 長野自動車道、岡谷I.Cから車で5～10分

*車でお越しの方は市営駐車場（450台）をご利用ください。
市営駐車場ご利用のお客様・・・最初の3時間は無料です。

●ちひろ美術館・東京

展示

・3月1日（土）～5月11日（金）

大沢節子 押し花の世界展

プレスした花を画面に貼り込んでいくのが押し花絵ですが、大沢節子の作品は、これまで私たちが抱いてきた押し花の平板なイメージとは違っています。

たくさんの花を重ねあわせるように構成した「黄色いバラのよろこび」などの作品では、一輪一輪の花の姿をいかし、大きさや向き、長さを吟味して、複雑な重なりの中に画面を構成して、立体感と奥行きのある作品を生み出しています。野に咲く花をイメージした作品でも、同様の画面構成で奥行きを生み、わずかな花の傾きや重なりによって生み出されるリズムが、風に揺らぐ草原の表情を伝えてくれます。

1. 大沢節子 サイン会
日時：3月1日～5月11日（金）の第1・3土曜日 15:00から
2. 押し花ワークショップ開催
日時：4月19日（土） 10:30から
対象：小学生
定員：12名（定員になり次第締め切り）
費用：実費のみ
*イベントの2の参加申し込みは、電話・fax・e-mailのいずれかでちひろ美術館・東京 イベント係まで。
・5月14日(水)～7月13日(日)
絵本『ことりのくるひ』展
<企画展>与勇輝展 5月14日（水）～6月15日（日）
イベント
ギャラリートーク
毎月第1・3土曜日14:00より。展示室にて、作品の解説や展示のみどころなどをお話しします。（参加自由）
えほんのじかん
毎月第2・4土曜日11:00より。展示や季節に合わせて、絵本の読み聞かせなどを行います。（参加自由）
・5月16日(金)～6月28日(土)
「山田洋次セレクション・シネマ俱楽部」第1期スタート
シネマ俱楽部会員を募集し、映画監督山田洋次が選んだ映画作品の上映と、監督自身が映画を語る会を開催します。
利用案内
〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2
TEL 03-3995-0612 / テレフォンガイド 03-3995-0820
FAX 03-3995-0680
午前10時～午後5時
(GWと8月10日～20日の開館日は午後6時まで)
月曜日（祝日は開館、翌日休館）
年末年始 12月28日～1月1日（1月2日から開館）
冬期休館 2月1日～末日
展示替のための臨時休館あり（展示予定はこちら）
大人800円／中学・高校生500円／小学生300円
団体（20名以上）、学生証をお持ちの方、障害者手帳をお持ちの方とその介添の方、65歳以上は100円引、視覚障害のある方は半額となります。
(なお、二重割引はいたしておりませんのでご了承ください。)
交通
西武新宿線上井草駅下車徒歩7分
JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14) 上井草駅
入口下車徒歩5分
西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14) 上井草駅
入口下車徒歩5分

●安曇野ちひろ美術館

展示
・3月1日(土)～5月6日(火)
ちひろの春～風にのって～
<企画展>荒井良二風 生き方の提案
・5月9日(金)～7月8日(火)
『となりにきたこ』－ちひろの絵本づくり－

<企画展>ちひろ美術館コレクション 世界の絵本画家展
ギャラリートーク
毎月第2・4土曜日14:00より。
※担当スタッフが展示の見どころを語ります。
おはなしの会
毎月第2・4土曜日11:00より。
※絵本の読みきかせや素話(すばなし)を親子で楽しめます。
利用案内
〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原
TEL. 0261-62-0772 / テレフォンガイド 0261-62-0777
FAX 0261-62-0774
3月1日～11月30日
午前9時～午後5時 (GW・8月は午後6時まで)
水曜日（祝日は開館、翌日休館）
冬期休館 12月1日～2月末日
GW・8月は無休 (2003年GWは4/29～5/5)
展示替のための臨時休館あり（展示予定はこちら）
2003年の臨時休館は5/8、7/10、9/25
大人800円／中学・高校生500円／小学生300円
団体（20名以上）、学生証をお持ちの方、障害者手帳をお持ちの方とその介添の方、65歳以上は100円引、視覚障害のある方は半額となります。
(なお、二重割引はいたしておりませんのでご了承ください。)
交通
電車の場合 JR大糸線「信濃松川」駅より タクシー3分・レンタサイクル7分・徒歩30分
※下記期間中、臨時特急列車が信濃松川駅に停車します。
下り：あずさ81号
新宿7:02発 信濃松川10:50着(5/3～5/5運転)
上り：あずさ54号
信濃松川8:20発 新宿11:36着
(3/21、3/22、4/26、4/27、5/3、5/4信濃松川駅停車)
あずさ192号
信濃松川16:27発 新宿20:16着(5/3～5/5運転)
車の場合 長野自動車道「豊科」I.C.より大町・白馬方面へ約30分
高速バスの場合新宿駅西口バスターミナルより 新宿↔白馬線利用
「安曇野松川」停留所よりタクシー5分、レンタサイクル15分

●軽井沢絵本の森美術館

★春展
「絵本界の巨匠（マエストロ）たち」～世界三大絵本賞展～
第2展示館にて。
会期：2003年3月1日（土）～6月23日（月）
絵本界の大きな賞といえば、「コールデコット賞」、「ケイト・グリーンウェイ賞」、「国際アンデルセン賞」があります。
これらは子どもの本に携わる作家の業績に対して、またイラストレーションやお話の素晴らしさに対して贈られ、絵本界の動向を知る上で欠かせないものとなっています。
今展では、絵本賞にかがやいた巨匠たちの作品を展示します。また、その中で受賞基準など各賞の性格や、設立背景などを紹介いたします。

その他、特集として日本人受賞作家の紹介を行います。

展示構成

(1) 「国際アーティス賞」受賞作家の作品

ソーヴィカート、マーブリック、パオウスカ-他

(2) 「コレクタ賞」受賞作家の作品

アラウソ、ハイマン、センダック他

(3) 「ケイト・グリ-ナウェイ賞」受賞作家の作品

アーティゾニ、ワルドスミス、ル・カイン他

(4) 日本人受賞作家の作品

まど・みちお、安野光雅、赤羽末吉

作品点数: 約 120 点

★併設展

「欧米絵本のあゆみ—春を祝う絵本—」

第 1 展示館にて

会期：同上

絵本の歴史、作家のプロフィールをご紹介しながら、絵本原画、歴史的絵本などを通じて「絵本の原点」を探ります。

17世紀に出版された最初の絵本(『世界図絵』)から、現在の絵本に至るまでの歴史を見ることができます。

作品点数: 約 70 点

次回 夏展

「つばさの絵本展—描かれた天使とその歴史—」

特集: 東逸子の幻想空間

併設展(第 1 展示館)

「木葉井悦子・アフリカの命を見つめる」

…(第一展示館にて)

会期: 2003 年 6 月 27 日(金) ~ 10 月 13 日(月)

交通

新幹線軽井沢駅、またはしなの鉄道中軽井沢駅よりタクシー約 8 分
上信越自動車道碓氷軽井沢 IC より約 15 分、小諸 IC より約 25 分

軽井沢絵本の森美術館の展示に関するお問い合わせは

Phone.0267-48-3340 Fax.0267-48-2006

curator@museen.org

●世田谷文学館

没後 20 年 寺山修司の青春時代 展

平成 15 年 4 月 26 日(土) ~ 6 月 15 日(日)

寺山修司が去って 20 年、戯曲の再演や映画上演など多くの関連活動がなされ、新しい世代を中心とした寺山ファンは、今も増え続けています。寺山作品は、十代の思春期の感性に時代を越えて語り続けており、その作品の普遍性が新たな読者を獲得していくのです。寺山修司は、30 歳を前後する昭和 40 年から 43 年頃にかけて、世田谷・下馬に移り住みました。この時期、演劇実験室『天井棧敷』を設立し、次々に自らの劇団活動を展開していきます。そして、十代から二十代にかけての創作活動の基盤であった俳句や短歌、詩といった形式から抜け出し、長編小説や戯曲、評論など新たな執筆活動を交えながら、演劇や映画といった芸術ジャンルへと移行してい

くのです。

本展では、世田谷ゆかりの作家でもある中井英夫や、詩人の北園克衛とのかかわりを交えながら、東京では初出品となる高校時代の書簡(俳句誌「牧羊神」関連資料)も含め、彼の創作活動の原点ともいうべき初期時代である《文学者としての寺山修司》の側面をご紹介し、既存の俳句・短歌・詩の世界に与えた影響を約 300 点の資料で検証します。

展覧会関連イベント

《上映会》 日時: 5 月 17 日(土) 午後 2 時 ~

上映作品: 『さらば箱舟』(劇団ひまわり=人力飛行機
舎=A T G / 1984 年 / 127 分 / カラー / 16?)

[監督脚本: 寺山修司 / 脚本: 岸田理生 / 映像: 鈴木達夫 / 音楽: J. A. シーザー / 美術: 池谷仙]

出演: 山崎努、小川真由美、原田芳雄、新高恵子、高橋洋子、高橋ひとみ他)

料金: 500 円、定員: 150 名、会場: 世田谷文学館
1 階文学サロン

【申込方法】往復ハガキに①希望日・イベント名②住所
③氏名④電話番号を明記のうえ、

〒157-0062 世田谷区南烏山 1-10-10 世田
谷文学館「文学サロン」係 まで。

*締切: 平成 15 年 5 月 2 日(金) 必着。

*連名可。応募者多数の場合は抽選。

平成 15 年度企画展「スイスの絵本画家—フィッシャー、ホフマン展」のお知らせ

ペローやグリムの昔話絵本で定評のあるスイスの絵本画家、ハンス・フィッシャーとフェリクス・ホフマンの絵本芸術を紹介する企画展を開催します。

ハンス・フィッシャー(1909-58)は、グリム童話の『ブレーメンのおんがくたい』を長女へのクリスマス・プレゼントとして描きました。その後ペローの『長ぐつをはいたねこ』、創作絵本『たんじょうび』『こねこのぴっち』『るんぶんぶん』を制作、日本でもお馴染みです。子どもの絵本の仕事に短い生涯を捧げたフィッシャーの絵本は、躍動感あふれる自在な線と豊かな色彩表現に特色があり、動物たちが今にも絵本から飛び出してきそうです。

フェリクス・ホフマン(1911-75)も、『おおかみと七ひきのこやぎ』は三女に、「ねむりひめ」は次女にというように、最初はわが子や孫のために絵本作りを始めました。その後も『ながいかみのラブンツル』『七わのからす』『うできき四人きょうだい』『つぐみのひげの王さま』『おやゆびこぞう』など、グリム童話の傑作絵本を数多く制作しました。ホフマンの絵本は、おさえた渋い色彩、余白の効果など計算しつくされた構成、読者のイメージをふくらませる登場人物の表現などグリム童話の絵本化に見事に成功しています。

【会期】平成 15 年 7 月 12 日(土) ~ 9 月 7 日(日)

(実開催日数 50 日間)

開館時間 午前 10 時 ~ 午後 6 時 (入場は 5 時 30 分まで)

休館日 月曜日(7 月 21 日は開館、翌日休館)

【主 催】世田谷文学館
【特別協力】小さな絵本美術館
【協 力】岩波書店、福音館書店（予定）
【後 援】絵本学会、世田谷区教育委員会（予定）
【会 場】世 田 谷 文 学 館
〒 157-0062 世田谷区南烏山1-10-10
(京王線芦花公園駅南口徒歩5分)
TEL:03-5374-9111
FAX:03-5374-9120
URL <http://www.setabun.or.jp>

本展は、小さな絵本美術館の特別の協力により、二人の主要作品の原画や下絵、メモなど貴重な資料を紹介します。

子どもたちへの贈りものとして愛情込めて制作された、世界的にも最もすぐれた二人の絵本表現をお楽しみください。

【観覧料】

一般／300円（240）円 高校・大学生／200円（160）円

小学・中学生／100円（80）円 65歳以上／150（120）円

*（ ）内は20名以上の団体料金、障害者割引

委員会から

講師登録制のご案内

絵本学会では、会員の専門知識、技能を積極的に活用するため講師登録制をスタートすることにいたしました。下記の要項にしたがって登録ください。

・目的

1. 絵本学会主催の講演会、研究会、フォーラム、講座、ワークショップなど催し物の講師、スタッフとして講師登録を活用させていただきます。

2. 絵本学会が他の団体の企画協力（共催、協賛、協力など）により講演会、研究会、フォーラム、講座、ワークショップなど催し物を行なう際に講師、スタッフとして講師登録を活用させていただきます。

3. 絵本学会が他の団体の要請により講演会、研究会、フォーラム、講座、ワークショップなど催し物の講師、スタッフを紹介する際に講師登録を活用させていただきます。

・資格、有効期間

講師登録の資格は絵本学会会員に限ります。登録後は会員資格のある間を有効とします。登録内容に変更が生じた場合は連絡ください。

・申し込み方法

はがき又はfaxに1. 氏名 2. 住所 3. 電話番号 4. テーマ、内容 5. 対象年齢 6. 所要時間 7. 曜日、時間帯 8. 謝礼 9. 経歴、実績 10. 上記情報を学会誌、メールなどで公開することの可、否を明記し、下記まで。

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10

世田谷文学館学芸部 生田美秋

FAX:03-5374-9120

<記載例>

4. テーマ、内容

講演、子どもの成長と絵本 ワークショップ、絵本創作講座など

5. 対象年齢

一般 小学2年～中学生など

6. 所要時間

1時間30分 1回2時間×4回など

7. 曜日、時間帯

土曜又は日曜 平日の夜間など

8. 謝礼

ボランティア 3万円以上 5万円以上など

9. 経歴、実績

東京女子大学教授（専門、児童文学）著書「戦後絵本の歩み」

朝日カルチャーセンター絵本講座担当など

・謝礼などの条件はあくまで目安です。その都度主催者と相談となります。

・絵本学会主催の催し物の場合は、従来通り原則として会員講師の謝礼はありません。

・必ずしもすぐに講師の依頼があるわけではありません。あらかじめ了承ください。

・登録情報は目的以外の使用は行いません。

・問い合わせ

絵本学会事務局又は世田谷文学館学芸部 生田美秋（絵本学会企画委員会）TEL:03-5374-9112

事務局からのお知らせ

●次期運営委員、監事候補者選出選挙の結果について

次期運営委員、監事候補者選出選挙の結果について、選挙管理委員会から平成15年3月19日会長宛に書面にて報告されました。

選挙結果は以下の通りです。

投票総数：188名、有効票：183票、無効票5票

運営委員：今井良朗 127票、太田大八 127票、三宅興子 123票、藤本朝巳 106票、香曾我部秀幸 104票、生田美秋 95票、佐々木宏子 93票、笹本純 92票、松岡希代子 92票、石井光恵 86票、竹迫祐子 84票、正置友子 63票、位頭久美子 56票、諸岡弘 55票、加持ゆか 50票、永田佳子 42票、前沢明枝 42票、岩崎真理子 31票。

藤本朝巳氏が次期運営委員を辞退、その結果得票数上位から今井良朗、太田大八、三宅興子、香曾我部秀幸、生田美秋、佐々木宏子、笹本純、松岡希代子、石井光恵、竹迫祐子氏まで10名の次期運営委員選出が理事会で確認されました。

監事：千田篤 160票、増成隆士 152票、

次期監事として増成隆士、千田篤両氏の選出が理事会で確認されました。

●絵本学会研究紀要「絵本学」第6号論文公募のお知らせ

絵本学会研究紀要「絵本学」第6号の論文を公募します。下記の要領でふるってご投稿ください。

「絵本学」投稿の要領

- 1) 投稿資格：絵本学会会員および準会員
- 2) 内容：絵本に関する研究論文、報告、論説、研究ノートで、未発表のもの。
- 3) 掲載の採択：査読に基づき、編集委員会が掲載の採否を決定する。必要に応じて編集委員会の外に査読委員を依頼する場合がある。採否判定の過程・理由は開示しない。ただし、投稿者は、結果について説明を求めることができる。この場合、編集委員会は申し出内容を精査の上、適正範囲内で回答する。
- 4) 刊行までの日程：(1) 投稿締め切りは9月30日（必着）とする。(2) 掲載の採否は12月15日までに投稿者に通知する。(3) 刊行は当年度内とする。

5) 原稿送り先：絵本学会事務局（郵送とする。Faxによる送付は不可）

「絵本学」執筆の要領

- 1) 執筆は、別に定められた「執筆要領」に準拠すること。「執筆要領」は、個別に事務局に請求する。
- 2) 使用言語：日本語とする。
- 3) 原稿の分量：原則として一篇につき、研究論文は8000字から16000字まで、報告・論説・研究ノートは8000字以内。
- 4) 原稿の体裁：必ず完成原稿であること。原則としてワープロによる横書きとする。表紙に原稿の種類（研究論文、報告、論説、研究ノート）、題目（和文、英文）、執筆者名（ローマ字を併記）、

所属機関、専門分野を明記する。

5) 提出物：(1) プリント原稿3部（図版も含む。コピー可）(2) 原稿を入力したフロッピーディスク（データは、原則としてWindowsまたはMacintoshのテキストファイルとする）(3) 図版原稿（使用する場合）はデジタル化せず、写真等を提出。

6) 図版の扱い：モノクロを原則とする。カラー図版の場合、経費は投稿者の自己負担とする。編集・印刷の都合で、図版は各論の末尾部に配置する。本文中の挿入はできない。使用する図版の数は特に限定しないが、本誌4頁分以内に納められるものであること。

7) 校正：著者校正は1回。文字変換ミスの修正など最低限の訂正のみとする。

8) 抜刷等：執筆者には、抜刷30部と、掲載誌5部を無料進呈する。

●会員名簿の発行について

前号のニュースで、「会員名簿」を4月に発行するとお知らせいたしましたが、役員改選にともない次回大会で新しい役員が決まりますので、それにあわせて発行することになりました。どうかご了承ください。

なお、前回送付いたしました仮名簿の記載事項に誤りがございましたら、事務局までお知らせください。

●研究助成

絵本研究に関する研究会への助成に対して3件の申請があり、運営委員会、理事会での審査の結果、3件に対してそれぞれ3万円が助成金として支給されました。

・戦後60周年子ども文化プロジェクト

代表者：正置友子

・日本絵本史研究会

代表者：大橋眞由美

・幼稚園児と絵本の関わり－梅花幼稚園絵本クラブ「こうめ文庫」10年の活動記録からの考察
代表：小澤佐季子

●理事会・運営委員会

2月2日 理事会 於：新宿 談話室滝沢

議題：

1) 議事録の確認

2002年6月29日開催の理事会議事録の確認。

2002年10月12日開催の運営委員会議事録の確認。

2002年12月8日開催の拡大運営委員会、運営委員会議事録の確認。

2) 入退会の確認

2002年度入会者32名 退会者21名を確認の上了承。

3年間会費未納者27名、賛助会員3件について、再度会費の督促と退会意志の確認を行う。

3月31日までに会費の納入がなかったときには、自動的に除籍することが確認された。

3) 運営委員人事

次期大会に関連して、会長推薦の運営委員として竹迫祐子氏を運営委員とすることを正式に承認。任期は、他の委員にあわせた2003年度総会までとすることも確認された。

<p>4) 絵本学会の組織と今後の在り方について 5) 役員の任期について 4と5の議案を合わせて審議。 ・役員の任期を2期（連続して）までとするべきとの案が出された。 審議の結果、会長と事務局長については、連続して2期を限度とする ことを理事会として確認、他の役員については継続して審 議していくこととし、会則を見直していくことが提案された。 ・理事会と運営委員会で組織の在り方を審議して行く一方で、理 事会の諮問機関として絵本学会会則の見直しに関する委員会を発足さ せることになった。委員の任期は1年で、平成15年12月31日 までに報告書を提出することが決定した。 委員は、中川素子、亀田邦子、増成隆士、松岡希代子、今井良朗の 各氏に委嘱することになった。 6) 絵本学会の活動について 7) 次回大会の概要について エリック・カール氏が体調不良のため来日出来なくなったこと、基 調講演の候補者として、新たな候補者を検討しているとの報告が あった。 8) 機関誌『BOOK END』の創刊について 9) その他 ・研究助成の申請があった「戦後60周年子ども文化プロジェクト」 （代表：正置友子）、「日本絵本史研究会」（代表：大橋眞由美）、「幼 稚園児と絵本の関わり－梅花幼稚園絵本クラブ〈こうめ文庫〉10年 の活動記録からの考察」（代表：小澤佐季子）の3件全てが承認され た。 ・絵本学会名簿について、当初4月発行の予定であったが、6月総 会で役員も入れ替わるので、大会終了後、8月発行のニュースにあ わせて発行、発送することが確認された。</p>	<p>(2) 絵本学会5周年の記念事業として連続講座（案）を企画するた め企画委員会と研究委員会が合同で、テーマ・人選などが具体的に 示された企画書を、次回運営委員会に提示すことが確認された。</p> <p>3月30日 運営委員会 於：板橋区立企業活性化センター 議題： 1) 第6回絵本学会大会について エリック・カール氏に変わってブライアン・ワイルドスミス氏が基 調講演を行うことになった。 教育機関の学生作品展示について、議論が十分煮詰まっていないの で今年は見送り、来年度しっかり実施しようということが確認され た。 2) 『BOOK END』創刊号の会計報告 創刊号の会計報告が行われ、プレ創刊号の約半分の予算で発行でき たことが説明された。 3) 『BOOK END』の編集体制について 次号の編集体制は、6月以降の新体制のもとで編集長を決めていく ことが望ましいとの意見が出され、理事会に報告することになった。 4) 役員改選に伴う今後の日程について 大会開催までの運営委員会と新運営委員会などの日程の確認が行わ れた。 5) 「WAVE」構想について 子どもの本に関するネットワークづくりを太田大八委員が提唱、そ の説明があった。 6) 各委員会からの報告 7) その他 会則検討委員会からの中間報告 次回総会で「研究紀要委員会」を会則に追加することが確認された。</p> <p>4月6日 理事会 於：新宿 談話室滝沢 議題： 1) 役員選挙結果について 選挙管理委員会から提出された報告書に基づき、選出された運営委 員を確認。 藤本朝巳氏の辞退を承認した後、今井良朗、太田大八、三宅興子、香 曽我部秀幸、生田美秋、佐々木宏子、笛本純、松岡希代子、石井光 恵、竹迫祐子の10名の新しい運営委員候補が承認された。 2) 運営委員会の報告 3) WAVE構想について 太田理事より子どもと絵本を結ぶネットワークづくり－WAVE構想 の説明があり、すでに賛同する個人が1,000円づつ出し合い動き始 めているとの報告があった。 4) 会則検討委員会からの中間報告 3月14日開催の委員会で互選により増成隆士氏が委員長に推薦さ れたこと、ひとまず自由な形で意見交換が行われ、次回は5月中に 開催されることが報告された。 5) 顧問について 6) 入会・退会について 2003年1月以降の入会者4名と退会者4名が承認された。 7) その他 企画委員会で絵本学講座を開催することについて検討してほしいと の意見が出された。</p>
--	--

絵本学会事務局が変わります

新年度より絵本学会事務局が変わります。4月より段階的に事務引き継ぎを行い、第6回大会終了までは新旧両事務局が機能しますが、大会終了後はすべての事務機能が新しい事務局に移ります。

《新しい絵本学会事務局》

〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学芸術学系 笹本純研究室内

FAX : 029-853-2846

e-mail : jsamt@geijutsu.tsukuba.ac.jp

●会費納入のお願い

新年度を迎えるにあたり、2003年度会費の納入をお願いいたします。また、前年度までの会費未納の方も今年度分と合わせてお振り込みいただきますようお願いいたします。

なお、振替用紙は会費振り込み用と大会参加費振り込み用の2種類が同封されておりますので、お間違えのないようにご注意ください。準会員で卒業され社会人になられた方は、正会員に切り替えられますようお願いいたします。その際は通信欄にその旨を記入ください。